

令和7年度 訪問看護質向上研修 「エコーを活用した排泄ケア」実施要領

1 目的

県内の在宅看護を推進するうえで、訪問看護人材の確保ならびに看護の質の向上は喫緊の課題である。そこで、県内の訪問看護事業所に勤務する看護師等を対象に、在宅看護に関する知識・技術の習得に向けた研修を行い、スキルアップおよび看護技術の均てん化を図ることを目的とする。

今回は、「エコーを活用した排泄ケア～初級・中級コース～」を開講し、エコーに関する基礎的知識・技術の習得し、フィジカルアセスメントに基づいた排泄ケアの選択と看護実践力の向上を目指す。

2 実施主体

公益社団法人青森県看護協会 青森県訪問看護総合支援センター

3 研修日時・場所

日 時：1日目：令和7年11月1日（土）10時00分～16時00分

2日目：令和7年11月2日（日）OSCEの時間は受講者に個別に通知する

場 所：八戸学院大学 8号館

4 研修内容

テーマ：「エコーを活用した排泄ケア～初級・中級コース～」

※本研修は次世代看護教育研究所（RINGE）が提供するエコープログラムの一部である

5 研修対象

- ・定員10名（会員・非会員は問わない）
 - ・県内の訪問看護事業所に勤務する看護職でeラーニングの受講および両日参加可能な方
 - ・エコーを活用した排泄ケアの研修を受講したことがない方
- ※定員を超えた申し込みがあった場合は、看護技術の均てん化のため事業所の所在地域等を勘案して当センターが10名を選抜する。その後、申込者へ受講の可否について連絡する。

6 受講料

24,000円（本来は1人48,000円のところを半額助成する）

7 申込方法・申込締め切り

- ・研修等管理システム「manaable(マナブル)」による申込みとする
- ・申込期間は、令和7年9月1日（月）～令和7年9月25日（木）とする。

8 研修方法

- ① エコー（超音波）検査の基礎知識についてeラーニングによる自己学習を行う
- ② エコー操作およびエコー所見に基づいたケアの選択について集合研修（演習）を行う
- ③ 集合研修後に個別にOSCE（客観的臨床能力試験）を行う

9 留意事項

- ・令和7年11月1日（土）の集合研修の前に、eラーニングを終了すること（eラーニング所要時間は3時間程度、確認テストあり）

連絡先：青森県訪問看護総合支援センター 其田
TEL：017-774-7705 / FAX：017-735-3836
E-mail:houmon-soudan@egao-park.net